



The Y's MEN's CLUB of

もりおか



<VOL141.2019.9>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

「よりよい明日のために今日を築く」

「アクション」

「勇気ある改革、愛ある行動」

「われら北東部、世界のワイズメンと共に前へ進もう」

「土台を固め未来への扉を開こう！！」

副題「明るい未来へ Let's Go」

国際会長	Jennifer Jones (オーストラリア)
アジア太平洋地域会長	田中 博之 (日本)
東日本区理事	山田 敏明 (十勝)
北東部長	鈴木 伊知郎 (宇都宮東)
もりおかクラブ会長	三田 庸平

今月の聖句 ローマ使徒への手紙 5章3節～4節

**「私達は知っているのです、苦難は忍耐を。忍耐は練達を、練達は希望を生むことを。」**

会長	三田 庸平
副会長	長岡 正彦
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	浅沼 慧 (しどう)
	中村 渉 (チャン)

10月定例会のご案内

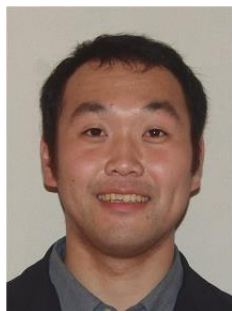
日時 令和元年10月5日 (第1土曜日) 18時30分

場所 盛岡北ホテル 会費 2,000円

第二例会、10月18日 (第3金曜日)

じよ居 会費、各自

三田会長巻頭挨拶



暑い時期も終わり、涼しくなった盛岡。寒暖差により風邪ひく人も多いようです。そして、山々に少しずつ色がつき始めました。もうこの時期が来たかと思っております。今月の6日～8日に行われたユースボランティア・リーダーズフォーラムに参加してきました。初めての参加でした。リーダーやワイズメンバーの方々と交流

三田会長 ができ、楽しい時間を過ごすことが出来たと思っております。

盛岡YMCAのイベントであるチャリティーランにもワイズのメンバーで参加いたしました。残念ながら台風による雨・風の予報があったので、体育館でのチャリティーすごろく大会に変更して行われました。初めて室内で行われましたが、参加者の笑顔があちこちで聞こえ、楽しい時間になったとおもっています。井上メン・井上メネットのお孫さんも駆けつけて頂き、ワイズのチームに入り盛り上げてくれました。ありがとー。

例会では、卓話していただける方をメンバー一丸で探しております。そこから、一員になっていただける方を見つけ、1人でも2人でもなって頂けたらと思っていますところ。

9月定例会の報告

令和元年9月14日(土) 盛岡、北ホテルにて開催、参加者、三田会長、大関、長岡、濱塚、井上、井上優子、根内、根内直美浅沼(敬称略)。ゲスト、金崎琴音さん(しじみリーダー)、高橋広徳さん(イソジンリーダー)、菅野真矢さん(カキピーリーダー)以上12名の参加で開催されました。

ブリテンの聖句を担当してくれている根内牧師(メン)がご夫妻で久々に出席してくれました。ありがとうございます。根内メンが聖句を担当してくれて以来、聖句は重複することなく充実した掲載になっている事に感謝しております。今年からリーダーとして盛岡 YMCA に力を貸してくれている、しじみとイソジンが例会初参加です。ガチガチに固くなっているのが感じられました。何回か出席すれば、ワイズのおじさんおばさんに打ち溶けられます。ぜひ何回も出席してください。目前に迫ったチャリティーランでのワイズが行う行動の確認がなされました。富士宮焼きそば

の150食販売が決定しました。過去、一回の販売で150食はありませんでしたので、完売すればファンドは最高金額確保になります。張り切って行きましょう。また、三田会長が次年度の東日本区ユース事業主任に推薦されていることが報告され、会員一同協力するので、ぜひ申し出を受けてくださいと決まりました。三田会長の人柄や熱心な活動が認められている事に嬉しさを感じました。井上優子メネットの、直前メネット委員長に続き東日本区役員への就任が続きそうです。私達もりおかの会員は全力でバックアップしていきましょう。



みなさん、いい笑顔ですね。集合写真です。

## 盛岡YMCA、第3回チャリティラン2019開催

9月23日、台風17号が接近。前日から降り続く雨。開催できるだろうか？不安に襲われていました。前々日は当日の行動の詳細が連絡されていました。三田会長から「やるみたいですよ。」と連絡、よ～しやろうと意気込みは最高潮に達していた前日の夜、濱塚総主事から、危険回避のため雨天プログラムに変更しますと連絡がありました。「え、やろうよ。決断が速すぎるよ。」と訴えましたが、責任ある総主事の決断に従いました。

が勝ち。「ボディじゃんけん」チームが全員で体をつかったじゃんけんをします。「○、×クイズ」問題が○か×かを当てるゲーム。など、チャリティーポイント、「チャッピー」を多く獲得したチームが優勝です。「このサイコロ2しか出ないぞ」と大関さん。リーダーに疑問をぶつけましたが、「6面有るけど、1と2と3しかないサイコロですよ。」「え、そうなの」よく見るとその通り、すぐろくが進まないよう、多くのゲームに挑戦してもらうためのアイデアでした。



チームもりおかワイズ

あんこ と マックス さいの目対決

リーダー会がもしものために企画していた雨天プログラム発動です。体育館をいっぱいに使ったすぐろくゲームです。各チーム得点ボードを兼ねたすぐろくを各チームでサイコロを振って進んで行くものです。サイコロを何回振っても1、2、3の目しか出ません。大関さんが「おかしい、バランスが悪いんじゃないの？」でもやっぱり「2」が多くてすぐろくが進みません。止まった升目に書いてあるゲームに挑戦です。「中身はな～んだ」手触りで物を当てるゲーム。「スリッパ飛ばし」中央に入れば高得点。「イントロ当て」リーダーが演奏する曲を当てます。「サイコロ出た目対決」リーダーとサイコロの出た目を競います。もちろん、多いほう

もりおかワイズチームは井上メンのお孫さん3人と一緒に7名でした。このお孫さんがすごい。イントロ当てでは一発で正解、12文字の並べ替えで文章を作る問題は、わずか20秒で「あげたてのプライドポテト」を導き出し、頭の固いワイズのおじいちゃんを救ってくれました。ありがとね。

優勝から3位と、特別賞が決まり表彰式と閉会式が執り行われ、第三回チャリティランは無事終わりました。盛岡YMCAのスタッフとリーダーの献身的な努力に感謝いたします。雨の場合のプログラムまで準備してこの日を迎えた事は、まことに素晴らしい事だと思えます。盛岡YMCAに大きな拍手を送ってください。



駆けつけたリーダーのOB、OGです。

わくわく。どうかな～

## 秘伝豆、枝豆の収穫作業！

9月28日、加藤さんの枝豆畑にて秘伝豆の収穫作業を行いました。参加者をご紹介します。三田会長(えだまめ)、以下7名。もりおかクラブ三田会長は「えだまめ」というリーダー名です。えだまめが枝豆の収穫、なんとも面白いですね。



実った秘伝豆畑、奥は軽トラ変わりのボルボ

薄曇りでもこの時期にしては暖かい日でした。ひと通り説明を受けて作業開始です。5株を1セットにして実入りの良いものを収穫します。実が入っていないさやかか虫食いで変色しているさやは別に分けます。作業開始です。とたんに、レモンが「うお～」叫び超えがやま山々にこだまします。何かと思えば、ちいさな芋虫出現。続いて、マックスが「いやだ～」、今度はカメムシの出現。大声で騒ぐなよな、出荷できるさやの数

薄曇りでもこの時期にしては暖かい日でした。ひと通り説明を受けて作業開始です。5株を1セットにし



「うお～」絶叫レモンなんて顔だい



私はかわいいでしょ、うるせ、カメムシがなんだ

を数えていたのに忘れてしまったよ。データを蓄積するために正確なさやの数を数えなければならないのに、「こら。レモン、マックス」。目標は20Kgの収穫です。早い、たったの1時間半で目標達成。楽勝だぜ。

加藤さんが、男子リーダーにかまどを造らせて、なにやら料理開始です。じゃがいものポトフ？だった、ような気がします。キャンプの昼食作りの雰囲気です。出来上がりのポトフをパンに挟んで、サンドイッチで食べました。見た目の悪さに対して、味は一流。1鍋のポトフはあっという間に完食です。体重120Kg



の横綱は大食なのは当然ですが、チャンも大盛りサンドを2つ食べましたよ。若さはすごいなと思いました。焼き栗は、焼けて跡形もなく消えて無くなりました。残念。

ワイワイと楽しかった収穫作業も終わり、写真撮影で本日は終了です。第二回目は明日の30日。また8名が参加します。加藤さんは、何をごちそうしようか思案中の様子でした。



楽しかった～、明日もおじゃましますね。

# 「フイテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

9月の出席率	8/14	61 %	ゲスト3名	ビジター	0名	メネット	2名		
メーキャップ	1	名		9月切手		10	g	累計	383 g
9月のにこにこ	11,000	円	累計	円	焼きそば	12,000	円	累計	42,000 円
9月 石鹸	1,800	円	累計	0 円	りんご	0	円	累計	0 円
9月 献金	0	円			ファンド合計	30,000	円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

9月のハッピーバースディ 9/20 根内 直美メネット 誕生日おめでとうございます。

## 東日本大震災アーカイブス2012年10月掲載

### 釜石、蓬萊館の女将さん

宝来館は釜石の海岸の一段高い場所に建っているため、津波のときの避難所に指定されていました。女将さんは、「津波が来る」と宿泊していた旅行者と従業員を、ホテルの裏山に登らせて避難したのです。しかし、女将さんは、まだ津波の襲来に気づいていない近所の人たちに知らせるために、いったん登った

裏山を下りて避難するよう知らせて回っていたのです。そこに津波が…。女将さんの悲鳴に突き動かされるように、しまいに全力疾走で走ってきます。女将さんの絶叫が、その人の「避難スイッチ」を



営業を再開した宝来館

入れたのです。裏山でその様子を見ていた人たちは、てっきり、女将さんは波に飲まれたかと思っていたようです。ところが、腰まで海水に浸かり、少し流されたものの、自力で山に這い上がってきたのです。女将さんも含め、近所の人たち、宿泊客、ホテルの従業員、全員、無事でした。助かった人は、どんなことをしたのか。逃げ遅れる人とは、どんな行動をとるものなのか。何が生死を分けたのか。「非常呪縛」を解くことができた人が助かったということになるようです。

「非常呪縛」とは、災害や事件など、非日常の状況が発生したときの「無思考状態」に陥ったときや、あれもこれもやらなければならないと思ったときに「優先すべき行動が混乱しているため判断ができなくなってしまう」ときなどに顕著に見られる現象、とのこと。なぜ、「優先すべき行動が混乱しているため判断ができなくなってしまう」のでしょうか。それには、多数派同調バイアスと、正

常性バイアスが作用しているとのこと。

多数派同調バイアスとは、過去経験したことの無い出来事が突然、自分の身の回りに起こったとき、自分の周囲にいる多数の人の行動に左右されてしまう、という「思い込み」、「先入観」のようなもの。何が起きているのか理解する時間が与えられず、どうして良いか分からない時、周囲の人と同じ行動を取ること、きつと乗り越えることができるだろうと思いついてしまうのです。つまり、自分が迷ったときは周囲の人の動きを探りながら、その多数の人たちと同じ行動をとることが安全だと思いついてしまうのです。これが「多数派同調バイアス」(集団同調性バイアス)。正常性バイアスは、「こんなことが起こるはずがない。これは現実ではない」と捉え、きつとこれは仮想の出来事に違いない、という心理が働き、「異常事態と認識する」いうスイッチが入らない状態。正常性バイアスに縛られてしまった人は、「まさか、こんなことが起こるなんて想像もしていなかった」と言います。つまり、「想定外」のことが目の前で起ころうとしても、それを認識できなくなってしまうのです。多数派同調バイアスと正常性バイアスが相乗して、自分を「非常呪縛」にかけてしまう。それで、身動きができなくなったり、判断がつかなくなったり、固着してしまうのです。硬直した状態、非常呪縛を解こうと、小高い丘に避難した人たちが、「早く逃げろー」と大声で叫んでも、聞こえなかったか、非常事態だと認識できなかったか。宝来館の女将さんは、いったん避難したのに、自分の命の危険をも顧みることなく再び下りて、近所の人たちに絶叫して避難を呼びかけました。この女将さんは、自分のホテルが津波の避難所に指定されていたというのに、それも信じておらず、さらに高台にみんなを誘導したのです。なぜ、そんなことができたのか。ホテルなんて壊れてもいい。「命あつての物种」をよく知っていたのでしょう。宝来館の女将さんは、接客業を通して、人間は具体的に示さないと、混

沌とした状態では何も行動に移せないことを知っていたのです。だから、自ら山を下りて知らせに行き、そして自分が大声を上げ

ながら先頭を走って誘導したのです。簡潔に、短く、重要な情報を与えることが、**非常呪縛**を解くトリガーとなっていたのです。

## ラグビーワールドカップ開催中

4年に1度のラグビーワールドカップがアジアで初開催、日本でわれています。各グループ第1戦が終わり、2戦目に突入しています。明日28日は日本の第2戦、アイルランド戦があります。前回、南アフリカを倒したようなミラクルを期待しています。

各国のチームが公開練習中に観客が国歌を歌い、激励していた。マスコットボーイが整列した選手と一緒に国家を歌っていた。ブルブラックスと交流があった、柏市のラグビー少年団が直伝のハカを観衆の前で披露した。日本人の歓迎とおもてなしの心は、世界中に伝わり始めています。

何年か前のインターハイでのことです。石鳥谷のソフトボールパークで1日何試合も行われる日程に対して、応援団がいないチームの試合を各町内に割り当てて応援をしていました。驚いたのは各県代表のチームでした。今まで、見ず知らずの応援団がグラウンドに駆けつけて応援してくれる経験はなかったといえます。こんな経験が日本人の中であつたからこそ、今回の国歌を一緒に歌う行動に繋がっていったのでしょう。

1次リーグで敗退するチームが6割います。そんなチームの方々が帰国する時、いやな思い出しか残らなかつたら、悲しい事です。日本人のサポーターは心から自分たちを応援してくれたという心温まる思い出を持って帰国してほしいものです。

## 盛岡の旧町名を探索第1話

今月より盛岡の旧町名をご紹介します。第一回は「肴町」(さかな)「御幸新道」(みゆきしんどう)「生姜町」(しょうが)です。

皆様ご存知の「ホットラインサカナチョウ」盛岡で唯一のアーケードが掛かった商店街です。ここが「肴町」。肴町は、当初、鮮魚や乾物を扱う魚商人や荒物商人が住む町だったことに由来します。現在の町名は「南大通」です。集合店舗のナナックが閉店して3カ月、人通りが減ったとはいえ、商店街は依然元気です。地方都市の宿命のような都市のドーナツ現象は盛岡も見舞われていますが、肴町は流れに逆行する盛岡の優等生です。肴町の中央付近、ミスタードーナツの交差点で肴町にクロスする道が「生姜町」、生姜町は、たばこ切り職人がいたため煙草町と呼ばれていましたが、神明社が置かれ神明町となり、文化9年(1812年)に生姜町と改められました。神明社の祭日9月15日に付近で生姜を売る習俗があつたことに由来するそうです。さらに生姜町の南側、細い路地のような通りが「御幸新道」です。明治9年(18

日本ファン、国歌斉唱で“英字歌詞カード”持参姿に海外感銘「一流だ」「日本大好き」



ウルグアイ



ウェールズ

ウルグアイ国歌を熱唱、有言実行の8歳少年に主将が感激「こんなサプライズは初めて」

ウェールズ国歌を猛練習 北九州市の“おもてなし”を海外称賛「これぞ日本だ」

日本ファンに感謝 初勝利逃すも、熊谷の“ロシアコール”に感激「すごく嬉しかった」

ネットのワールドカップネタを検索すると、こんな記事がどんどん出てきます。これからの同様の記事に期待します。くれぐれも気分が悪くなるような事件は起きないようにしたいものです。

76年)の天皇巡幸の際、天皇が通る道という事で御幸新道(みゆきしんどう)が造られ、行在所となったそうです。生姜町も御幸新道も現在の町名は南大通です。ナナックが閉店した現在、商店街をけん引している店が「総合衣料のみかわや」です。さかな館、みゆき館、しょうが館の3店舗で営業しています。あまりの身近さに旧町名のことなど全く意識していませんでしたが、ふと気付くと長い歴史の呼び名の町名を現在に残してくれていました。



アーケードの商店街



八百屋や、乾物屋が今も健在

### 編集後記

28日、日本はアイルランドに逆転勝ちしてグループリーグ2勝目を獲得。勝ち点を9としてグループ1位に出ました。負けても、ボーナス点1は欲しいと思っていたところに、勝ち点4獲得です。決勝トーナメント進出に大きな一歩です。

大関さん、秘伝豆の収穫作業に「横綱くん」が来てくれました。写真をご紹介します。



190Cm、120Kg です。そばに行く顔がはるか上にあります。大きいですよ。ラグビー選手はこれくらいで標準ですからこんな大男が突進してぶつかり合っているラグビー選手、試合後はまともでいられる訳がありません。興奮と感動の中で、皆様、またお会いしましょう。